

老朽化で高まるニーズを見越して 水道管漏水調査事業に新規参入

課題

新築住宅の受注減と人口減少で 工事の受注減少している

有限会社なかまごは、炭の卸売りと道路舗装などを請け負う建設業として1958年に創業した。その後、1971年に法人化し、LPガスや灯油などの燃料販売と、水道管上下水道事を主とする建設部門の2つを柱に、事業を営んできた。

高度成長期にあっては、ハウスメーカーや工務店の下請け受注が多く、順調に業績を伸ばしていたが、景気の後退、ハウスメーカーからの受注減少、町内の人口減少などにより売上が大幅に減少していた。きめ細かい対応で顧客満足度を高め、新規受注とリピート客の確保を増やしたものの、下請け依存からの脱却、利益の確保を急務の課題として、対策を考える必要に迫られていた。

支援

新たに調査機器を導入し 自治体の入札を目指す

これまで定期的な巡回でヒアリングシートによる現状分析を行ってきた雫石商工会は、SWOT分析を行って課題を抽出。創業当時の井戸掘りにはじまり、水道本管の敷設から蛇口までの配管工事一式を長年にわたって請け負ってきた実績に着目した。

近年、全国的に埋設した水道管の老朽化による漏水が増加している。中には水道管が破裂し、水が噴出し、周辺の浸水被害を生じさせるケースもしばしば伝えられている。

とくに雫石町では1998年の岩手山地震、2008年の岩手宮城内陸地震、2011年の東日本大震災と、立て続けに大きな地震が発生した影響により、以前には稀だった埋設樹脂管からの漏水が数年前から増えていた。管の老朽化が進めば、今後ますます漏水は増えることが予想された。

一方で、埋設管の修繕に対応できる業者は減少している。国土交通省の調査によれば、全国で事業者は2005年の9万3527社から2015年には8万4260社と10%ほどの減少。すでに一部地域では技術者不足が発生する事態も生じていることがわかった。同社は長年にわたる水道配管工事のノウハウを有している。調査が難しい埋設樹脂管の調査ができる探知機を北東北3県で初めて導入し、他社で見つけられなかった漏水箇所を特定してきた豊富な実績がある。同社の強みを最大限に活かせる漏水調査事業を新規事業として立ち上げる



漏水調査事業の立ち上げで業績が回復

ことに迷いはなかった。

商工会では、新規事業開拓に向けて経営計画の作成と小規模事業者持続化補助金の申請支援を実施。新たに相關式漏水探索機、誘導式樹脂管経路探索機、路面音聴式漏水探索機を導入し、樹脂管の調査に対応する体制を整えたことによって、自治体からの学校校舎などの公共施設の漏水調査案件の受注が可能になり、大きな収入源となることが期待されている。

成果としては、新規事業開始以前からの漏水案件の売り上げを年度ごとに比較すると、45%アップ、255%アップ、391%アップを達成し、順調に売り上げを伸ばしている。現在では、大手メンテナンス専門業者2社の専属契約を得て、岩手県内の大手コンビニチェーン2社の漏水案件や地元自治体からの施設の漏水案件を任されるまでになり、社員を増員するまでに業績が回復した。

支援の経過

期間	支援内容
2017年7月～	定期的な巡回による現状分析
10月～	課題抽出、目標設定、新事業考案
2018年1月～	新事業の構築、ものづくり補助金の申請支援
10月～	経営革新計画の策定支援
2019年4月～	持続化補助金の申請・実行支援

会社概要

会社名：有限会社なかまご
住所：岩手県岩手郡雫石町上町東1-1
電話番号：019-692-2369
URL：<https://nakamago.wixsite.com/>
代表者名：中村イセ
創業年：1958年
従業員数：4名
商工会名・担当者名：雫石商工会・中川美里、四日市信也